

令和5年度
全国学力・学習状況調査
八代市の結果概要

八代市教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和5年4月18日(火)

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査の対象

- ・ 小学校第6学年の児童、中学校第3学年の生徒

(4) 調査の内容

- ・ 教科に関する調査（小学校：国語・算数、中学校：国語・数学・英語）
- ・ 質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

2 教科に関する調査の概要（小学校）

【小学校 6 年生】	国語	算数
八代市	65%	60%
熊本県	67%	61%
全国	67.2%	62.5%

※ 表中の数値は平均正答率（%）、県及び市の値は国から整数値で公表

- ・本市では、国語及び算数で、熊本県及び全国平均を下回っている。
- ・国語では「読むこと」、算数では「図形」等の内容に課題が見られる。

2 教科に関する調査の概要（中学校）

【中学校3年生】	国語	数学	英語
八代市	67%	45%	37%
熊本県	69%	48%	42%
全国	69.8%	51.0%	45.6%

※ 表中の数値は平均正答率（%）、県及び市の値は国から整数値で公表

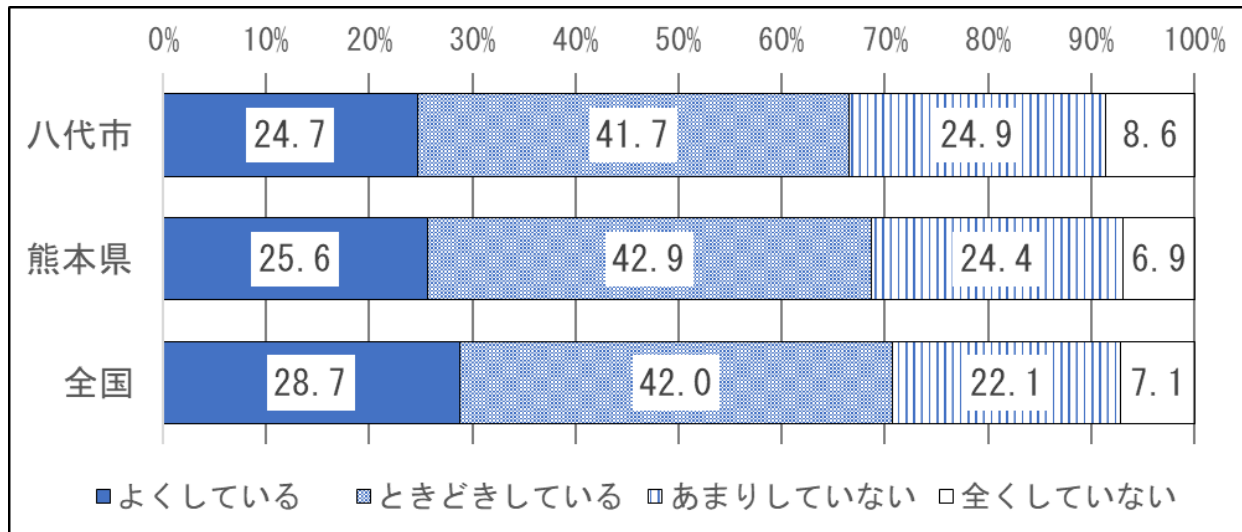
- ・本市では、国語、数学及び英語で、熊本県及び全国平均を下回っている。
- ・特に、数学及び英語の平均正答率が低くなっており、課題が見られる。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

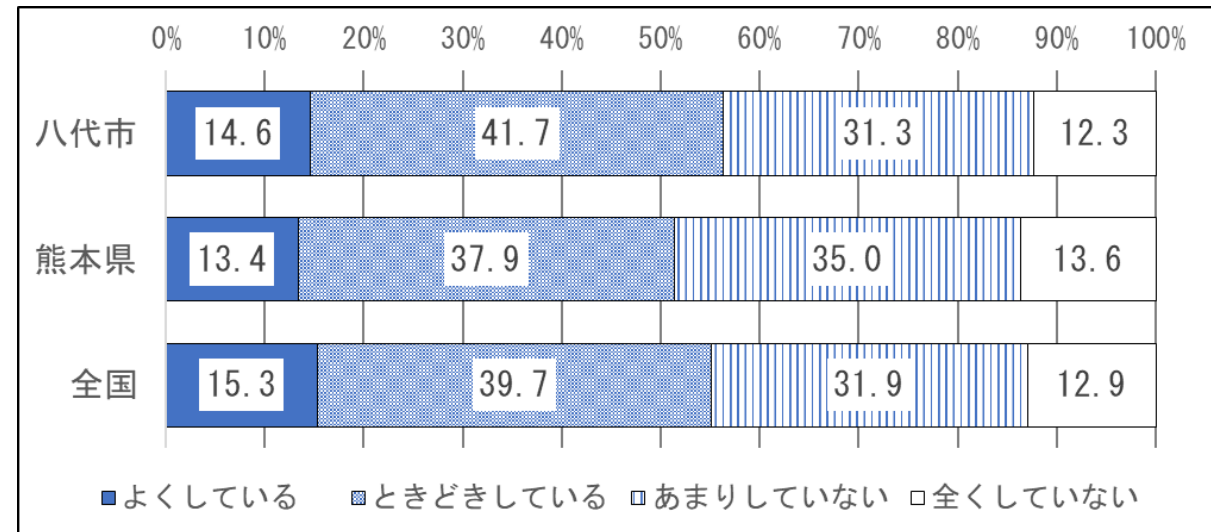
（1）【学習習慣】に係る質問

○ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

ア 小学校



イ 中学校



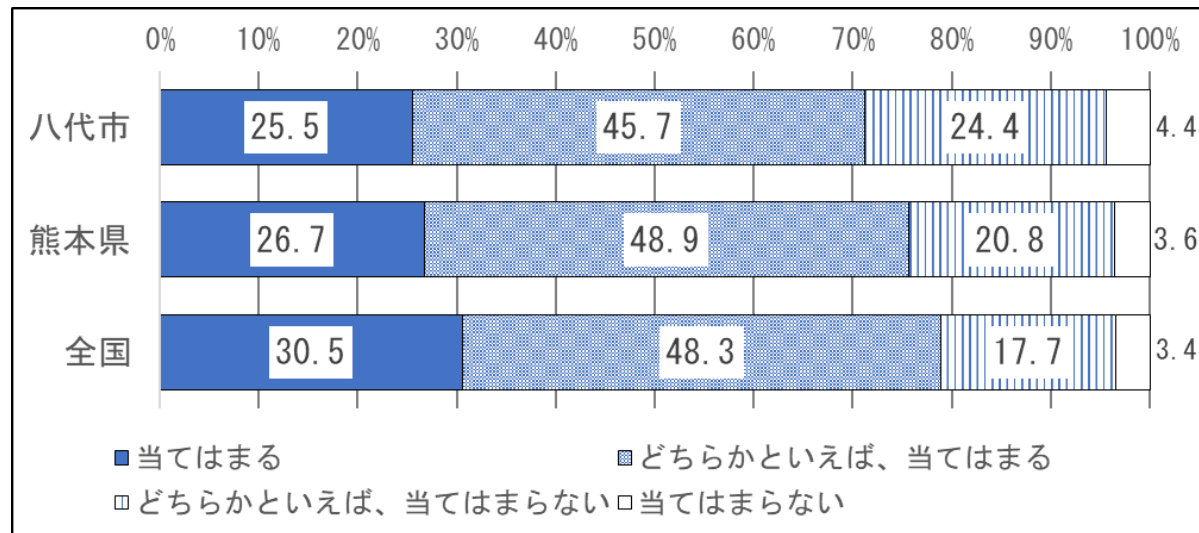
「よくしている」及び「ときどきしている」の割合は、小学校は熊本県及び全国平均を下回っている一方で、中学校は上回っており、家庭学習の習慣が身に付いてきていることがうかがえる。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

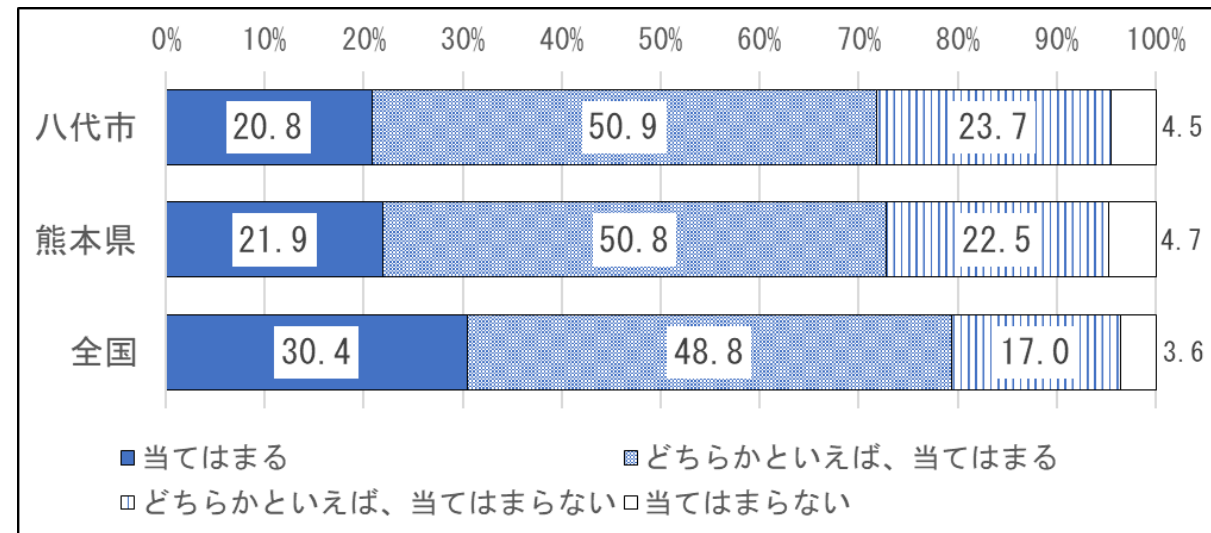
（2）【主体的な学び】に係る質問

○ 5年生（中学校においては、1、2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

ア 小学校



イ 中学校



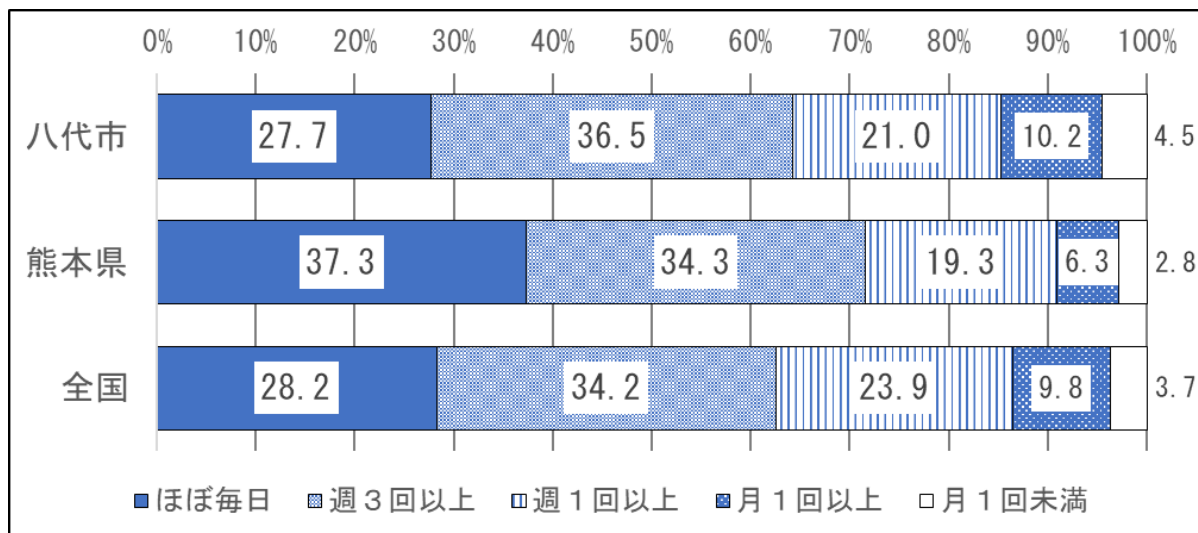
「当てはまる」及び「どちらかといえば、当てはまる」の割合は、小中学校共に熊本県及び全国平均を下回っており、引き続き「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が必要である。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

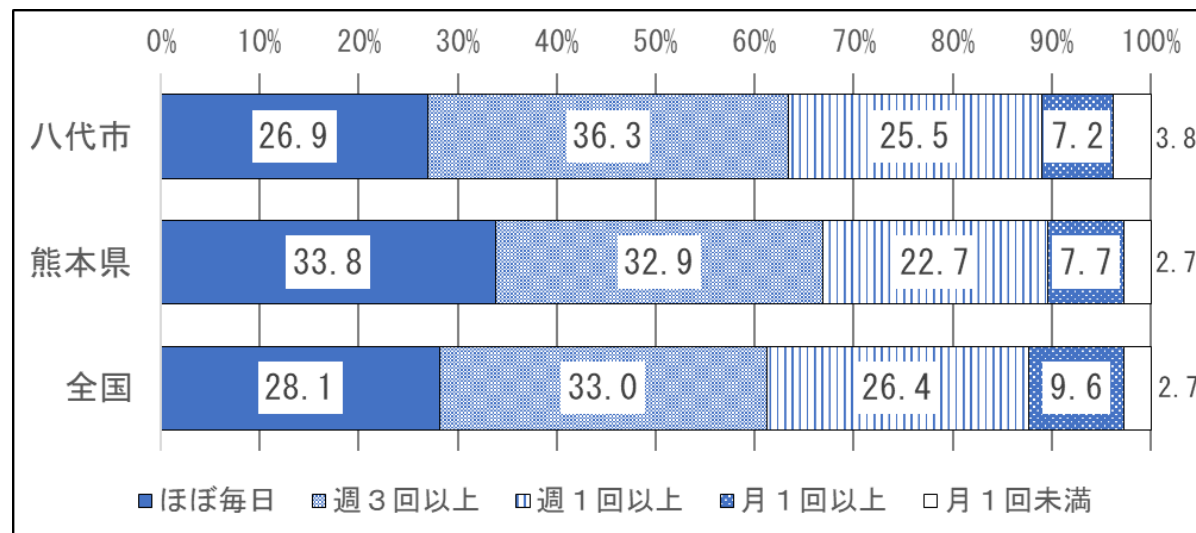
（3）【ICT活用】に係る質問

○ 5年生（中学校においては、1、2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

ア 小学校



イ 中学校



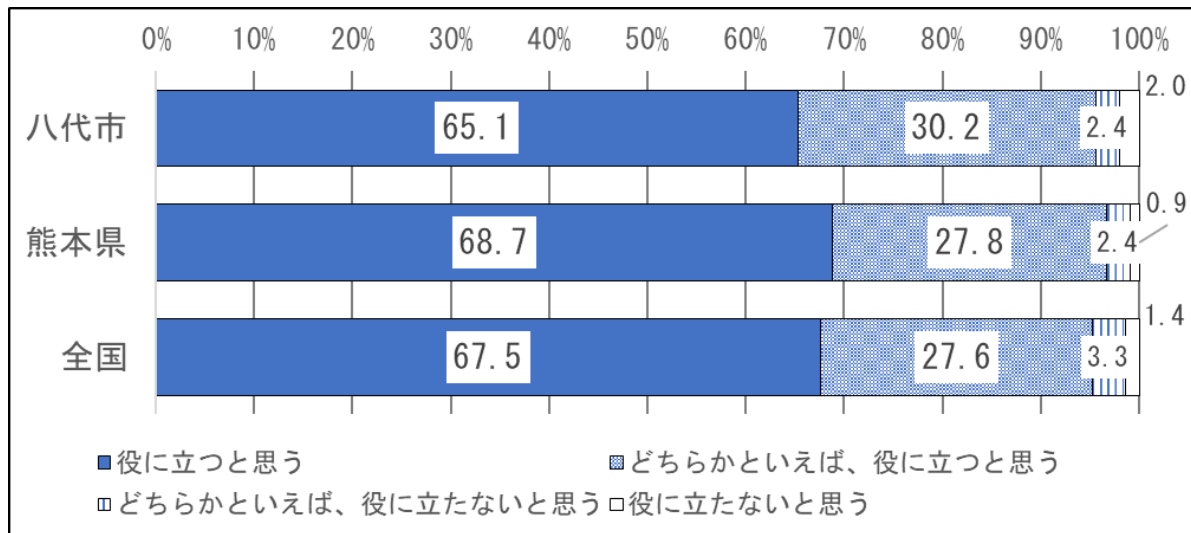
「ほぼ毎日」及び「週3回以上」の割合は、小中学校共に全国平均を上回っており、各学校において授業の中で児童生徒がタブレット端末を使用して学習するなど、ICTの活用が進んでいる。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

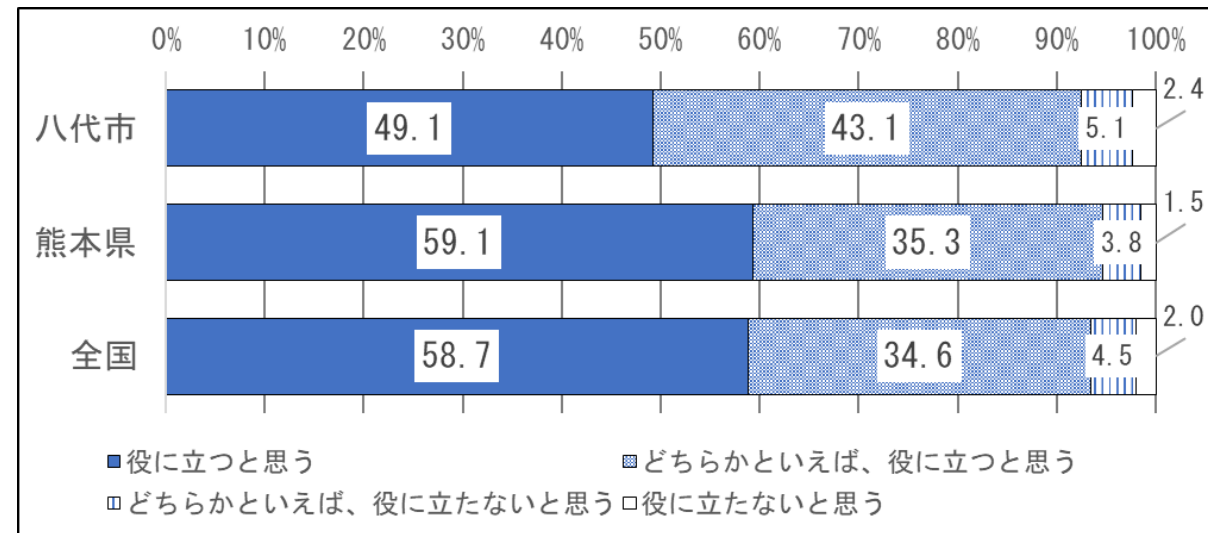
（3）【ICT活用】に係る質問

○ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
※「その他」の回答を除く。

ア 小学校



イ 中学校



「役に立つ」及び「どちらかといえば、役に立つと思う」の割合は、小中学校共に90%を超えており、多くの児童生徒がICTを活用することについて有用性を感じている。

3 質問紙に関する調査の主な結果（小中学校）

（4）その他の質問

単位（％）

質問項目	小学校			中学校		
	本市	県	全国	本市	県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	78.6	82.2	83.5	75.4	78.5	80.0
将来の夢や目標を持っていますか	80.8	82.2	81.5	65.1	66.4	66.3
学校に行くのは楽しいと思いますか	86.2	88.4	85.3	81.7	84.0	81.8
読書は好きですか	69.6	69.5	71.8	63.1	62.9	66.0

※ 表中の数値は肯定値（「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合）

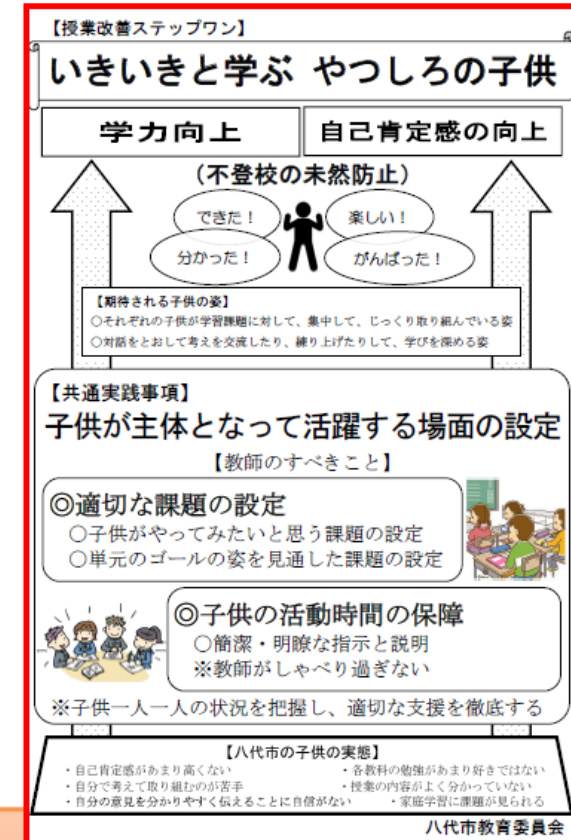
4 今後の取組

八代市教育委員会では、本調査等の結果分析を踏まえ、第3期八代市教育振興基本計画に示しております「やつしろの 絆でつむぐ 心豊かな人づくり」の基本理念の下、学力向上に向けて、以下のことに重点的に取り組んでいきます。

- 右の「八代市教育委員会 学力向上 重点取組」の推進を図るとともに、「子供が主体となって活躍する場面の設定」等を共通実践事項として、各学校で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ります。
- 本市立幼稚園、小学校及び中学校では、「自分からすすんであいさつをする」「話す人の顔を見てしっかり話を聴く」「靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる」の3点の徹底を図る「やつしろスピリッツ」の実践に取り組んでいます。このことを通して、学力向上の基盤となる学びの土台づくりに努めます。
- 本調査の他に、本市独自の八代市学力・学習状況調査等を実施しています。これらの各種調査を基に、児童生徒の状況を把握し、学力向上に向けた検証改善サイクルを確立します。

誰一人取り残さない

【重点】学びの苦手な子供に寄り添う取組を



ICTの活用

- 1人1台端末の積極的かつ効果的な活用

家庭学習習慣の定着

- 子供一人一人の状況把握と学びの見取り

学級の規範意識の向上

- やつしろスピリッツの共通実践
- 安心と信頼にあふれ、高め合う学級づくり